

本題材で育成すべき資質・能力

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
<p>【知識】形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。</p> <p>【技能】意図に応じて工夫して表現し、制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。</p>	<p>【表現】対象の特徴や形のイメージから主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現の構想を練る。</p> <p>【鑑賞】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったことや考えたことなどを基に絵や彫刻に表現したり鑑賞したりする学習活動に取組もうとする。</p>

【題材のねらい】材料の形や色などから発想を広げ、材料の特徴を生かして動物をあらわすことができる。

【目標】材料の形や色、組み合わせなどから、作りたい動物の構想を練り、材料の特徴を生かして制作し、お互いの作品を鑑賞し、感じたことや考えたことを伝え合い、見方や感じ方を広げることができる。

題材のまとめ

お互いの作品を鑑賞し、感じたことや考えたことを伝え合い、感じ取ったことや考えたことを振り返りに書ける。

班で意見を出し合いながら、計画的に、材料を工夫して〇〇を作ることができた。^知
 1班の〇〇は材料の色や特徴を工夫して、毛並みや質感までも表現していてすごいと思った。^思
 鑑賞会をすることで、自分たちの班にはなかった他の班の工夫がわかり、見方が広がった。^思
 木の実や枝、葉っぱなどの自然物だけで生き生きとした〇〇を表現することができた。^学

第7次 鑑賞【本時】

発想のおもしろさや工夫した点を話し合うことができる。^{思 学}

第6次 制作④

材料の特徴を生かしてあらわすことができる。^思

第5次 制作③

材料の特徴を生かしてあらわすことができる。^思

第4次 制作②

材料の特徴を生かしてあらわすことができる。^思

第3次 動物の決定 制作①

動物の特徴を表す構想を練り、制作の見通しを立てることができる。^{知 思 学}

第2次 発想

材料の色や形から自由に発想できる。^思

第1次 題材の導入

身の回りの材料を組み合わせで作った作品を鑑賞し表現意図や工夫を感じ取ることができる。^{思 学}

【題材の入り口】生徒の姿

小学校の図画工作で約半数の生徒たちが身の回りの材料を使って動物などを作る経験をしており、学習に対するレディネスがある。また、経験している生徒は個人制作であり、今回のような班による共同制作を経験していない。そのため、多様なアイデアが出ることを期待している生徒も多く、話し合いにより一層よい物が作れそうだという期待感が感じられる。

題材の学習課題

材料の形や色などから発想を広げ、材料の特徴を生かして動物をあらわそう。